

# カートゥーンコース

## 2017年度 専門試験科目

### ● イメージ表現

実施する入試種別

一般入試前期B日程

### 専門試験科目における 前年度からの変更点

- 試験概要に関する特段の変更はありません。
- 公募制推薦入試において「イメージ表現」の専門試験科目を実施しません。

### ● イメージ表現

**出題意図：** 1つの言葉から連想するイメージをいかに的確に1枚の絵に表現することができるかということ、発想の斬新さや独創性、個性的な表現方法をみたいと思います。

#### 2016年度 公募制推薦入試・一般入試A日程 試験問題

**時間：** 3時間

**問題：** 下記の言葉から思い浮かぶイメージを、イラストで表現しなさい。

① (公募制推薦入試)

「60年後の世界と私」

② (一般入試A日程)

「あなたがいたら淋しくないよ」

**支給材料：**

● 画用紙(B3)	1枚
● 下描き用紙(B4)	1枚

**持参物：**

<input type="checkbox"/> 鉛筆デッサン用具一式
<input type="checkbox"/> 水彩用具一式 ※1
<input type="checkbox"/> 画板(カルトン)※2

※1 絵具の色数の制限はありません。水で溶く絵具であれば種別を問いません。

※2 画板の大きさ、種類などに制限はありません。支給材料の紙の大きさを参考にして持参してください。



### イメージ表現

#### ①「60年後の世界と私」

#### 作品評価

ビルの谷間の一本道に傘をさした主人公。傾いたり倒れたりしているビルの壁からは小ささまざまなキノコが生えている。傘はキノコから放たれる菌糸を避けるためだろうか…。作者がイメージする60年後の世界は荒れ果てて自分一人残されているという寂しいイメージの作品なのだが、鮮やかな色彩の組み合わせとビルの巧みな構成が楽しい雰囲気をもたらし出している。結果的に暗い作品にならず、色彩構成としての上手さが作品に力を与えている。



**イメージ表現 ①「60年後の世界と私」**

**作品評価**

若者が予測する未来はなぜか申し合わせたように荒れ果てた世界が多いのはなぜだろう。これは近未来を描くアニメやコミックの影響も多いのかもしれない。幸せて平和な世界を思い浮かべる人は意外と少ない。これはまさにゲーム世界にどっぷり浸かった感じの作品だ。アングルはそれらしきシューティングゲームの画面と遠景には煙を上げるビル群。戦車の中から眺める感じの構図の大胆さが他の受験者とはひと味違って魅力的な出来上がりとなった。



**イメージ表現 ②「あなたがいたら淋しくないよ」**

**作品評価**

ペット好きの作者の気持ちが満ちあふれた作品です。たくさん色を使いながらそれが結果的には上手く構成され、あたたかい作品になっています。1つ1つカタチは稚拙な感じがしますが、真ん中に大きな犬とキノコを配置して構図を安定させまどめています。下半分の色の使い方はいい加減なようで実に上手く構成しています。もう少しバックの描き込みを整理すればもっとまとまったでしょう。